

いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

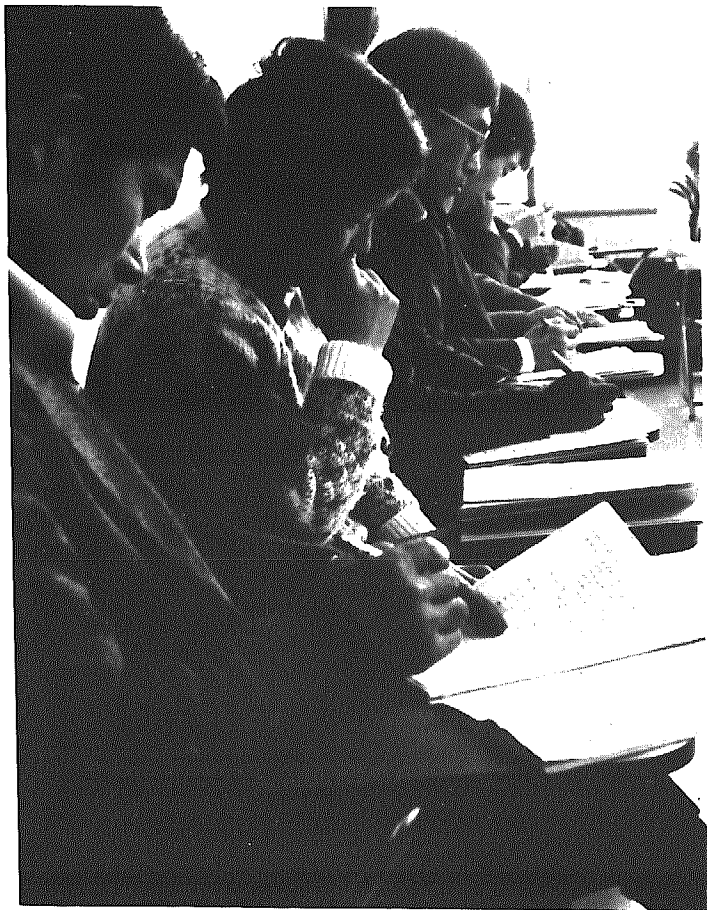
No.215

岩室村の人口

(1月31日現在) 前月対比

男	4,476人	(-2)
女	4,884人	(+4)
計	9,360人	(+2)
世帯数	2,261世帯	(+2)

(住民基本台帳による)



PTA活動を魅力あるものに

悩み、課題を持ちよって研修会

「先生と父兄と地域が一体となって児童、生徒のすこやかな成長を願って応援しよう——これがPTAの本質であり、活動のねらいの一つでもあるはずだ。」
「そのためには何をしたらいいのかわからない素朴な課題をテーマに、この程、村

のPTA連絡協議会が主催して、公民館で研修会が行われました。
研修会は、各小中学校PTAが抱える課題や、実践例を発表し合い、そのなかから共通する悩みや、問題点を絞って意見を出し合うという形で進められました。

「本音のいいあえる雰囲気づくりが大切でないか」
「参加することの価値感の問題である。結果を心配しないで多少の冒険覚悟の企画をしてみよう」など、歯をきかせない意見が交され、魅力あるPTA活動の

ある参加者は——とてもためになんとかキッカケを得ようと真剣そのものでした。
「とても結論なんかできませんよ、とにかくこのように集まって、話し合うことが刺激になって、そこから、創意工夫も浮んでくるのですよ」と話し、この研修会の意義を強調していました。
今年のPTAいつものところが、そんな手こたえを感じた研修会でした。

救急車の要請は生命の危険な時に

場所と症状をはつきりと

五十四年度の岩室分署からの救急出動件数は一六九件あり、そのうち、三〇パーセントが中等症以上、七〇パーセントは軽症でした。

分署では、皆さんからの救急要請が重なる時、管内の他町村に要請しなくてはなりません。

このような場合、時間もかかり、一刻を争う患者の生命が危険にさらされることとなります。

救急車は昼夜を問わず起こる急病や交通事故のため今では日常生活に欠くことのできないものになっています。

このように救急車は一刻も早く医師の治療が必要なる人を搬送するためにあるものです。

救急車は、心ある良識と節度をもって要請されるようみなさんの理解と協力をお願いいたします。

消防分署では、かかりつけの医師が不在の時とか、自家用車、タクシーなどで行かれる場合でも病院の紹介をいたします。

